

職員インタビュー

若手職員

それぞれの部署で働く職員が、仕事の魅力や大切にしていることを語ります。

01



地域福祉部 施設・人材育成課

主事 | 令和8年度採用

仕事内容

佐賀県内の福祉施設・事業所を対象に、職員の資質向上や人材育成に関する研修の企画・運営を行うほか、高齢者や障害者施設の団体事務局の運営や関係機関との連絡調整を通じて、福祉現場で働く職員を支え、働きやすい職場づくりにつなげる業務を行っています。

やりがい・大切にしていること

様々な関係機関と広域的につながる県社協の強みを活かし、法・制度改定への対応や困難・先進事例のノウハウ共有等に取り組んでいます。施設や事業所と協同して課題解決を図り、県内の福祉サービスの質向上と地域福祉の基盤強化につなげることを心がけています。

02



地域福祉部 まちづくり課

主事 | 令和7年度採用

仕事内容

住民同士が支え合う地域社会の実現を目指し、市町社協など多様な主体との連携・協働による地域づくりの推進、ボランティア活動の活性化、民生委員活動の支援、権利擁護の取組、被災者支援体制づくりを行っています。

やりがい・大切にしていること

福祉教育、市町社協の会議・研修調整等を担当しています。多様な関係機関と連携する中、業務の先にある住民の方々の存在を常に意識することを大切にしています。複雑な地域生活課題に対し、関係者と一丸となってアプローチし、誰もが安心して暮らせる地域づくりに貢献したいです。

03



地域福祉部 福祉資金課

主事 | 令和4年度採用

仕事内容

主に、全国共通の「生活福祉資金貸付事業」を担当しています。資金の貸付を一つの支援ツールとして、市町社協や関係機関と連携しながら、一人ひとりに必要な支援を一緒に考え、困りごとを抱える方の自立と安定した生活につなげていく仕事です。

やりがい・大切にしていること

相談者の言葉に耳を傾け、抱えている困り事や思いを丁寧に受け止めることを大切にしています。一人ひとりの立場に立ち、置かれている状況や必要な支援と一緒に考えながら、安心して生活再建への一步を踏み出せるよう支援しています。相談者に寄り添い、その一步を後押しできることにやりがいを感じています。

職員インタビュー

社会人経験者

福祉分野以外で培った経験も、県社協の仕事で生かされています。

04



総務部 修学・求職支援課

主事 | 令和7年度採用

仕事内容

福祉人材センターでは、福祉施設への人材紹介をはじめ、セミナーや就職フェア、施設見学会、交流会などの企画・運営を通じて、福祉分野の人材確保・定着に取り組んでいます。福祉の仕事の魅力を広く発信するとともに、求職者と施設の双方に寄り添いながら、就職・採用を支援しています。

やりがい・大切にしていること

慌ただしい日々の中でも、職場の仲間と支え合いながら、一つひとつの企画や出会いを大切にしています。準備や運営には大変なこともありますが、参加された方々の笑顔や「参加してよかった」という声に触れたとき、大きなやりがいを感じます。そうした喜びを日々の原動力に、より良い企画や支援につなげられるよう取り組んでいます。

05



総務部 総務企画課

主事 | 令和8年度採用

仕事内容

経理や人事、広報、社会福祉会館の管理をはじめ、社会福祉労働者の表彰、理事会・評議員会の運営など、法人運営に関わる幅広い業務を担い、佐賀県社協の活動を支えています。

やりがい・大切にしていること

経理や会議室の貸出、広報などを担当しています。会議室の利用料は、社協の活動を支える大切な自主財源の一つです。制度の狭間にある課題にも対応していくため、自主財源の確保に取り組むとともに、前職の金融業で培った経験を活かし、社協と企業との橋渡しをしていきたいです。

MESSAGE

事務局長からのメッセージ

「あなたにしかない経験や視点が、佐賀の福祉を動かす力になります。」

県社協の仕事は、目の前の一人を支えることから、地域の仕組みをつくることまで、幅広く佐賀の暮らしに関わる仕事です。

私たちが求めているのは、最初から何でもできる人ではありません。人の声に耳を傾け、仲間と一緒に考え、より良くするために一歩踏み出せる人です。

「誰かの役に立つ仕事がしたい」「地域をもっと良くしたい」。その気持ちが少しでもあるなら、ぜひ私たちの仲間になってください。次にここで笑っているのは、あなたかもしれません。

一緒に、これからの佐賀の福祉をつくりましょう。

事務局長